2021年12月4日（土）10：00～11：30、世界銀行グループ多数国間投資保証機関 MIGA長官の俣野弘をお招きしてオンライン報告会を開催しました。事前登録された会員18名程度が参加されました。お話は**「世銀の気候変動活動計画について」でした．**

俣野さんは、慶應義塾大学卒業後、スタンフォード大学経営大学院にて修士号を取得、三菱UFJフィナンシャルグループ（MUFG）において、30年以上にわたり銀行・金融業務に従事されてきました。世界銀行グループの国際金融公社（IFC）に3年間出向した経験もお持ちです。MIGA長官就任前は、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）傘下の東銀リース株式会社にて常務執行役員を務めておられましたが，2019年12月16日付で、MIGAの長官（EVP）に就任されました。

俣野さんからは、添付のPDF資料に基づきご説明がありました。最初に「直近の政治経済情勢と投資家の取り組み」，続いて「国際金融の潮流」，「世界銀行グループの気候変動行動計画」「パリ協定との整合性評価」について順にご説明を頂きました．

皆さまの関心の強いテーマでありましたので，質疑に入りますとたくさんのご質問を頂きました．世界中で気候変動対策が推進されるなか，国別の気候変動対策の戦略が重要となるなかで，当該戦略の策定においてIMFを含む他機関との間でどのような主体的な役割や調整役を世銀が果たしているのかにつき，最初に小寺さんからご質問を頂きました．その他，小林文彦さん，浅沼信爾さん，小川麻理子さん，水野哲昭さん等からも質問を頂戴しました．

俣野さんおよび準備にご協力頂きましたMIGA駐日代表の林田修一様には心より感謝しております。ありがとうございました．

（記録：安間）